

事例研究報告

特別支援学校小学部の児童に 国語の文章読解に関する指導

児童の実態

- Aさん（小学部）
 - 表出言語は多いが，口頭指示だけでは理解が難しい時もある。
 - 平仮名は濁音・拗音・促音等全て読める。片仮名はア～カ行まで読むことができる。
 - 文章は逐次読みになる。
- Bさん（小学部）
 - 表出言語は多い。自分に注目が集まると，声が出にくいことがある。
 - 知らないことがあっても，知っているように会話をすることがある。
 - 平仮名は濁音・拗音・促音全て読むことができるが，自信がなく答えられないことが多い。片仮名はア～サ行まで読める。
 - 4枚の絵を物語の順に並べることができる。

指導目標・指導手続きについて

【学校コンサルテーション実施前】

【教員のねがい】

将来の余暇活動や作業（仕事）に活かしていくことを考え、文章を読み、内容を理解することを目指したい。

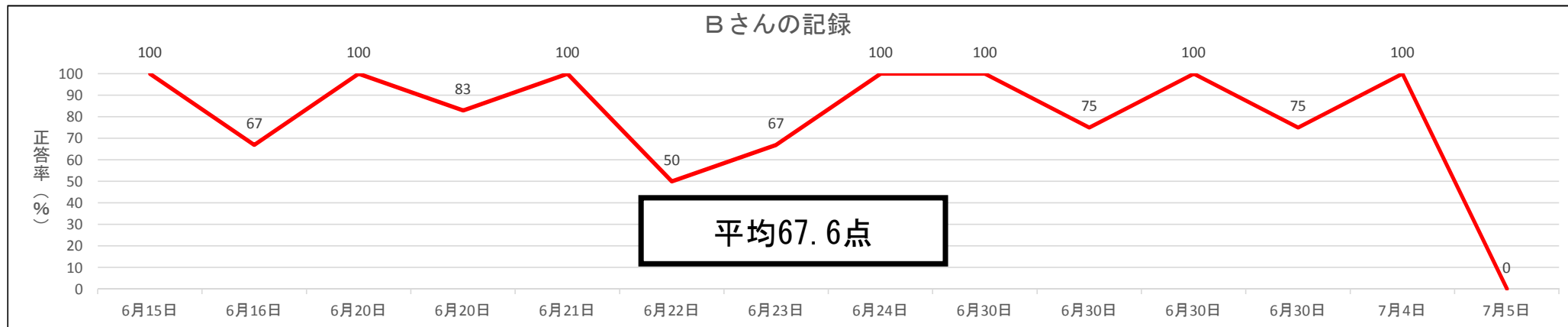
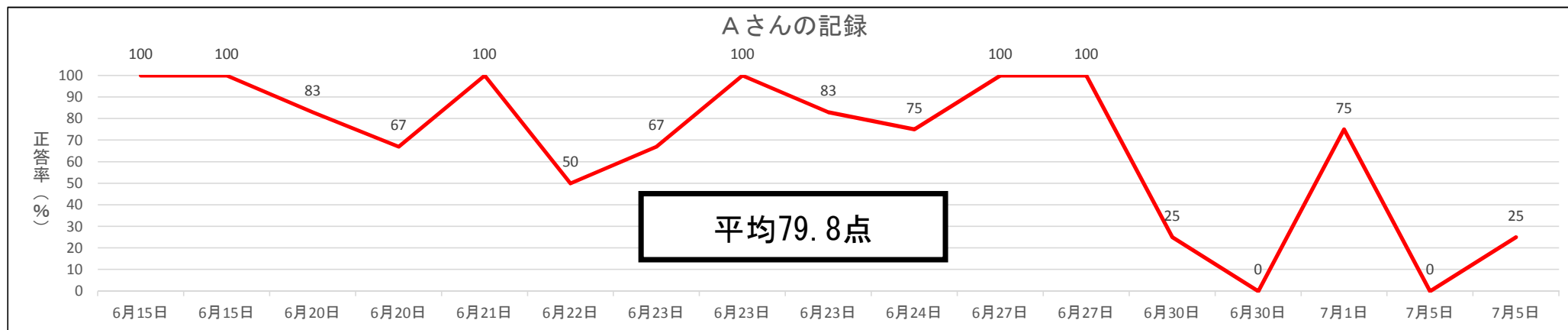
【指導目標】

3語文程度の文章が3つ程度の文章量を読んで、5W1Hの質問に答えることができる。

【指導手続き】

- ①教員と一緒に指で問題文をなぞりながら、ゆっくりと読む。
- ②問題文を見ながら、教員の質問に答える。

結果【学校コンサルテーション実施前】



○ : 正答 (2点) △ : 一文読み返した後,質問し正答 (1点) × : 一文読み返しても答えられない (0点)
得点率 = 総得点 ÷ 満点数 × 100 (小数第1位以下は四捨五入)

アドバイザーからの助言

教員と一緒に文章を
読んでいる

「つけさせたい力」
の明確化
指導目標・指導内容の
整理

逐次読みの段階

「文章を読む」学習行
動の下位行動を分析



アドバイザーからの助言



文章の読み取りの下位行動の整理をしましょう。

文章を読み取る

文章を読む

③文を読む

①文字を読む

①～③を
指導していく

②語彙数が増える

【記録】

- ◆ ①の正確性・流暢性
- ◆ ③文（3語文）を読む

指導1

【指導目標】

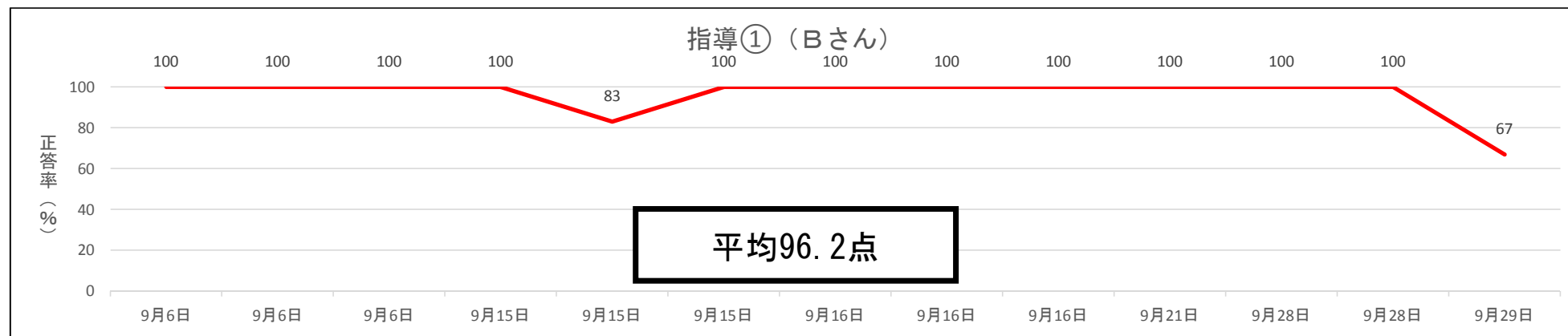
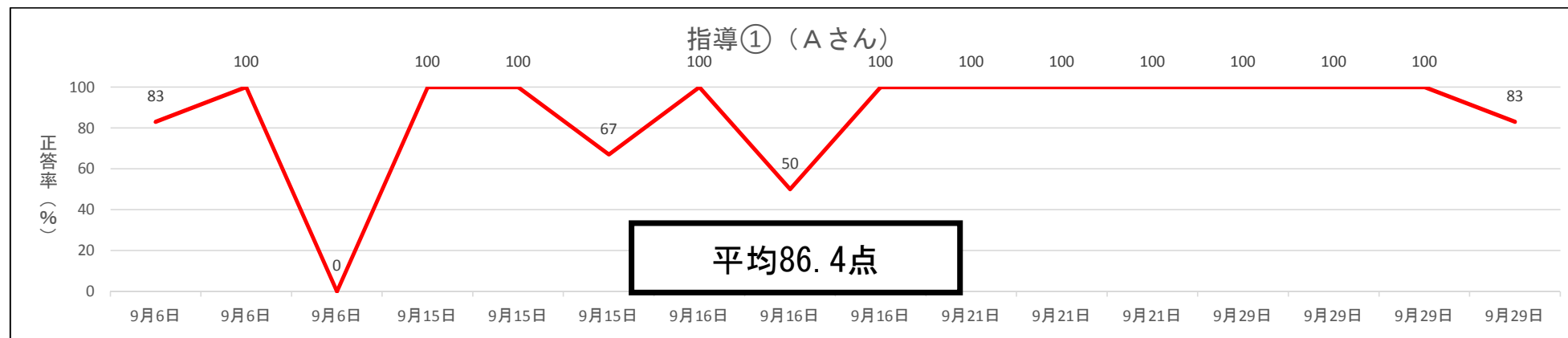
3語文から成る一文を一人で読み、教員の質問（5W1H）に答えることができる。

【指導手続き】

- ①児童が一人で3語文の文を音読するように伝える。
- ②5W1Hについて質問する。
- ③②が誤答の場合、児童と一緒に読み、再度質問する。
- ④③が誤答の場合は、正答を伝える。

指導1の成果

正答率が上がり、意欲的に取り組むことができるようになりました。



○ : 正答 (2点) △ : 一文読み返した後、質問し正答 (1点) × : 一文読み返しても答えられない (0点)
得点率 = 総得点 ÷ 満点数 × 100 (小数第1位以下は四捨五入)

指導2: ひらがなの読みの流暢性

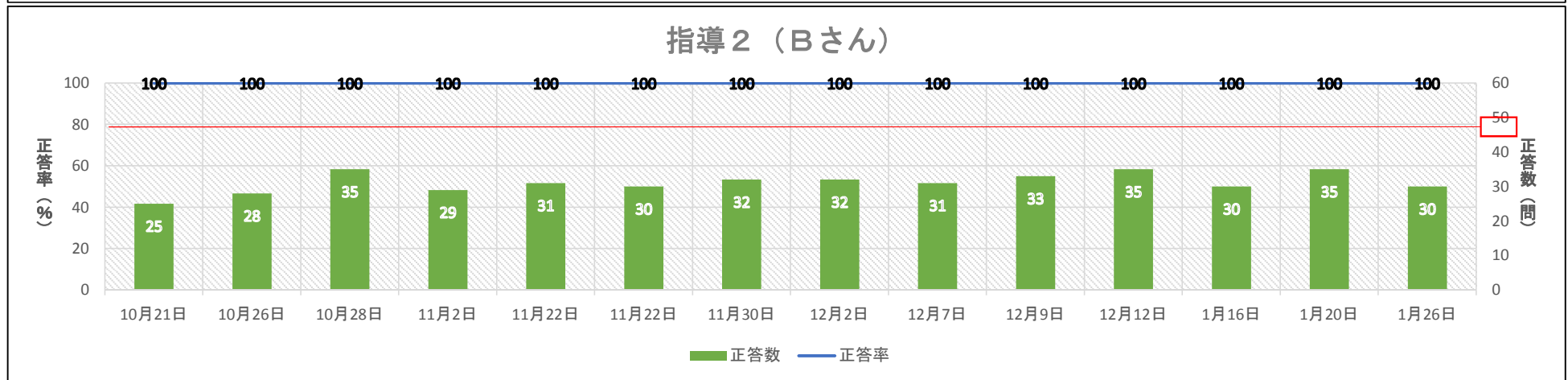
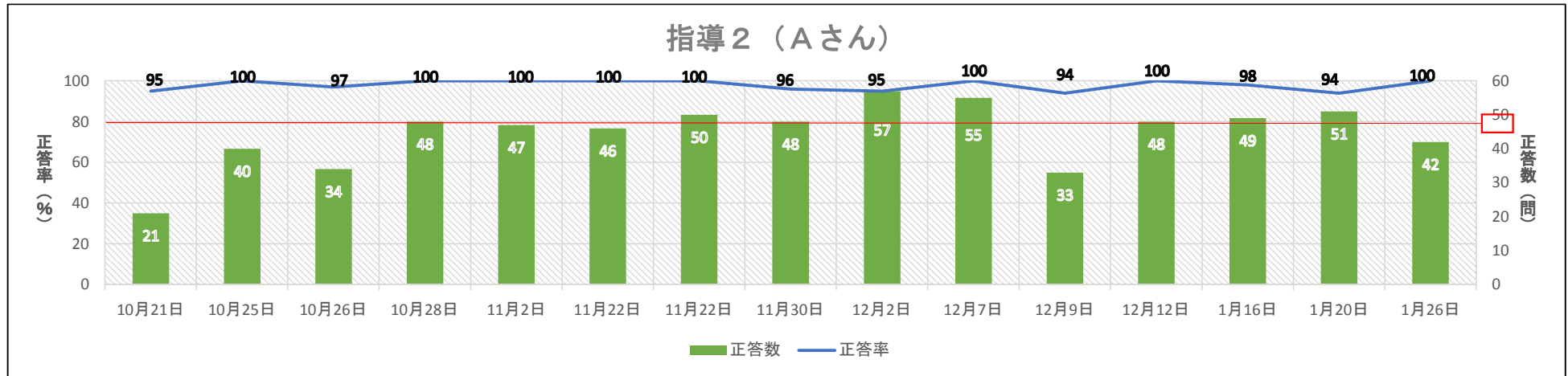
【指導目標】

1分間にひらがな（正音）を正確に50字以上読むことができる。

【指導の手続き】

- ① ランダムに並んだ60字のひらがなの表（一行に5文字で12行分）を使い、読む行の次の行は隠し、一文字ずつ指差ししながら、1分間でどれだけ読めるのかを記録する。
- ② 読みに誤りがあったひらがなについては、その場で訂正せず読み進める。そして、1分間読み終わった後に、確認として読みに誤りがあったひらがなを再度読むように伝える。それでも誤答の場合は、正答を伝える。

指導2の成果



【達成基準】

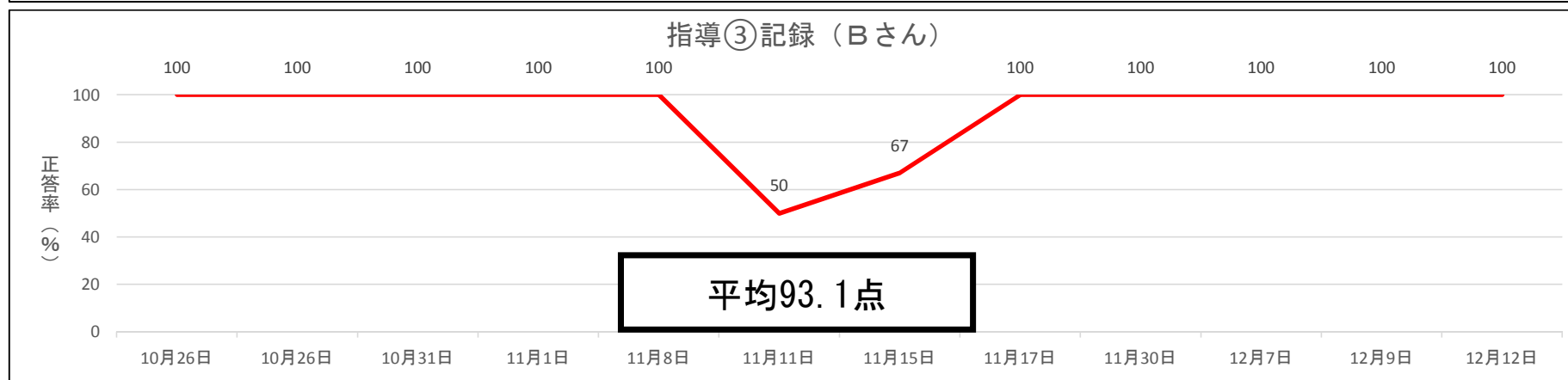
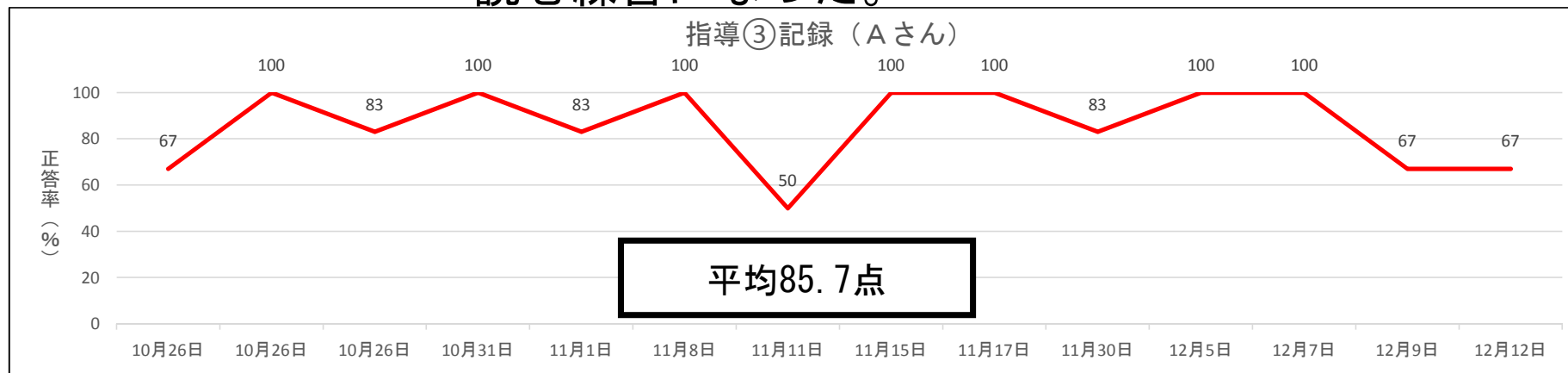
1分間でひらがな50字（正音）を読み、正答率が90%以上が3日連続で達成とする¹⁰。

指導3: 文章内容の変更

- 指導目標・指導手続・評価基準は指導①と変更なし
- 学習内容の変更
 - 読み飛ばし・読み間違いを減らし、最後まで読むようになることを目的に、言葉や文章の内容を児童にとってなじみのうすいものへ変更
(例: 「かれえらいす」ではなく「かれえびらふ」に)

指導3の成果

Aさんは、得点率の上下はあるものの、文章中の言葉や内容をなじみのうすいものに変更することで、最後まで読む練習になった。



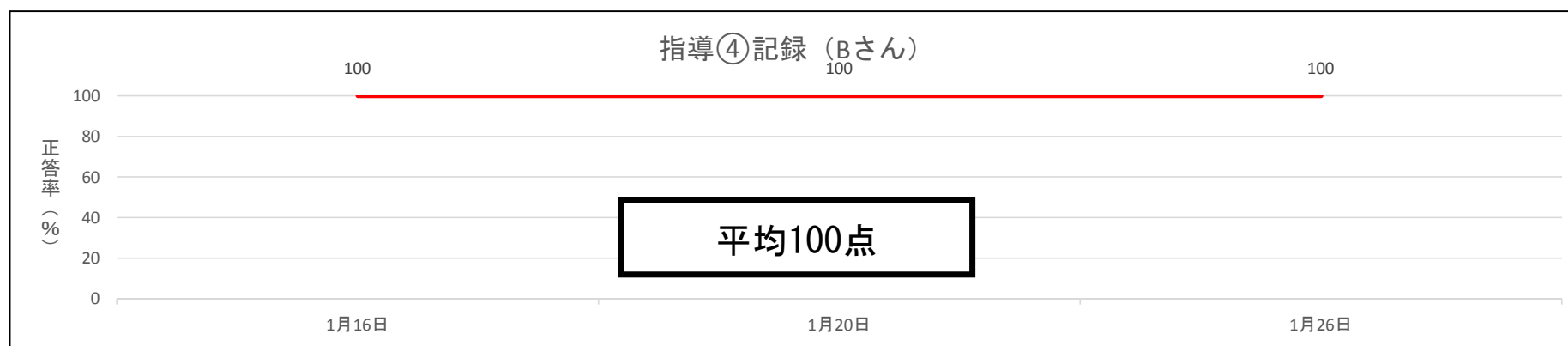
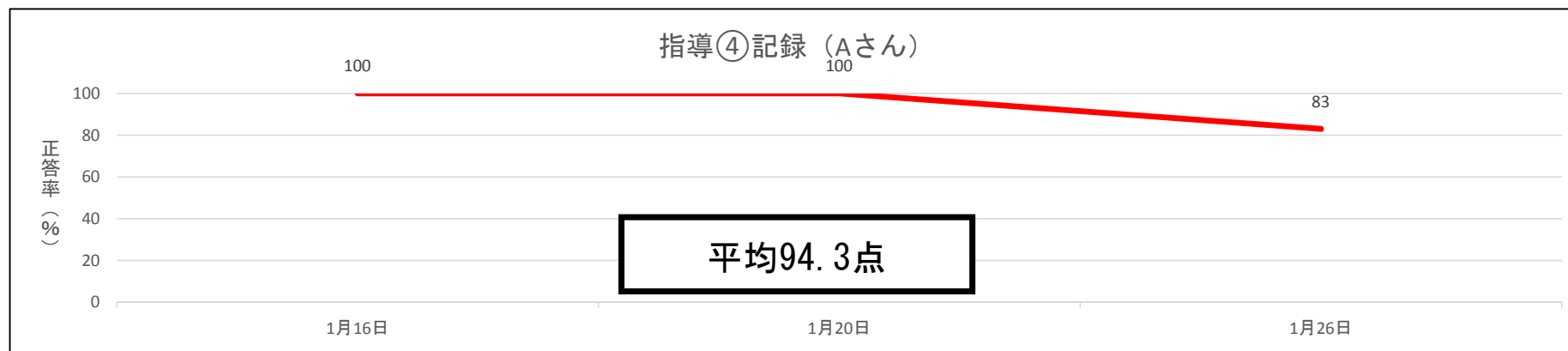
○：正答（2点） △：一文読み返した後、質問し正答（1点） ×：一文読み返しても答えられない（0点）
得点率＝総得点÷満点数×100（小数第1位以下は四捨五入）

指導4: 文章内容の修正

- 指導目標・指導手続・評価基準は指導①と変更なし
- 学習内容を個々の特性に応じて設定
 - 【Aさん】
 - 指導③と同じ学習内容を継続
 - 【Bさん】
 - 文章中の表現をなじみのあるものに変更
 - 文章の文字を大きくする

指導4の成果

正答率が、2名とも90%を超え、質問された際の読み返しが減少しました。読むことへの積極性も出てきました。



○：正答（2点） △：一文読み返した後、質問し正答（1点） ×：一文読み返しても答えられない（0点）
得点率＝総得点÷満点数×100（小数第1位以下は四捨五入）

ここが成功のポイント



- 「1分間でできるだけ多くの課題をする」という学習形態が分かりやすかった。
- 文章の読み取りの下位行動の整理ができ、児童の実態に応じた学習内容を柔軟に設定できた。